

報道各位

第1回 日本放送文化大賞 ラジオ部門 TOKYO FM「ザ・ライン～僕たちの境界線」が準グランプリを受賞！！

社団法人日本民間放送連盟が制定、本年より毎年実施されることとなった「日本放送文化大賞」のグランプリ、準グランプリ作品の発表が本日(11月2日)の第53回民間放送全国大会(大阪)席上で行なわれ、TOKYO FMの「ザ・ライン～僕たちの境界線」が、ラジオ部門の準グランプリを受賞いたしました。

「日本放送文化大賞」は、民間放送連盟の会員各社において質の高い番組がより多く制作・放送されることを促す目的で、視聴者・聴取者の期待に応えるとともに、放送文化の向上に寄与したと評価される番組を顕彰する目的で制定されました。

審査は、地区審査と中央審査に分けて行なわれ、ラジオ部門の地区審査には全国から69番組が参加、その中から中央審査へと7作品が選出されていました。

<準グランプリ作品紹介>

□タイトル：ザ・ライン～僕たちの境界線

□放送日時：2005年5月30日(月)05:00～06:00

□出演者：白真勲、丸目蔵人、崔徳孝、呉徳周、沢知恵、後藤由多加、中谷剛、宮沢和史

□ナレーター：手島里華(TOKYO FMアナウンサー)

□プロデューサー：延江浩(TOKYO FM)

□ディレクター：勝島康一(メガハウス)

□作品内容：

「反日」。

日本人は、なぜ、嫌われるのか。

私たちに重くのしかかる2文字。

日本をよく知り、日本とアジア諸国との歴史問題にも直面して生きてきた在日朝鮮人の方々の話を中心に、私たちが考えなければいけないことは何なのか？を、番組を通して考えていきます。

番組タイトルの「ザ・ライン」は境界線という意味。

反日運動で強く現れた、日本とアジアの境界線。

番組では、この源を探ります。

受賞作品は、多くの国民に聴取される機会を設けるという目的の下、3ヶ月以内に全国のFM全社で再放送される予定となっています。